

南魚沼市パブリックコメント集計結果公表

NO.	
案件名	ご当地ナンバーの導入にかかる地域名表示の追加要望（案）に対する意見募集
募集期間	平成 30 年 1 月 9 日（火）～2 月 8 日（木）
担当課	（問い合わせ） 企画政策課 企画班 TEL : 025-773-6672 FAX : 025-772-3055 E-mail : kikaku@city.minamiuonuma.lg.jp

■ 募集の趣旨

ご当地ナンバーの導入にかかる地域名表示の追加要望（案）に対する意見募集を、平成 30 年 1 月 9 日（火）～2 月 8 日（木）までの間行いました。

お寄せいただいたご意見・情報の集計が終わりましたので公表いたします。

ただし、個々のご意見・情報に直接回答はいたしませんので、あらかじめご了承ください。

■ 提出されたご意見と南魚沼市の考え方

◇パブリックコメント手続期間中に提出された意見件数等、およびその概要と市民意見等に対する市の考え方

意見件数（人数） 272 件

うち無効件数（人数） 31 件

- ・住所や氏名が無記名、または明らかに住所・氏名が正確ではないと判断される方の意見
- ・市に直接関係がない方の意見

提出された意見の概要及び市の考え方は別紙の集計表の通りです。

■ 提出されたご意見を考慮して（パブリックコメント実施機関として）確定した計画など

ご当地ナンバーの導入目的や、地域名についての考え方を総合的に整理し、パブリックコメントを実施しましたが、市民の方々から地域名に対する様々な考え方やご当地ナンバーの取組に対するご意見をいただきました。

市では、さらに市民の方々の意向を十分に確認する必要があると判断し、18 歳以上の市民を対象としたアンケート調査を実施することとしました。

集 計 表

NO.	
案件名	ご当地ナンバーの導入にかかる地域名表示の追加要望（案）に対する意見募集

■ パブリックコメント手続結果集計表

1. 意見提出人数

直接持込または FAX	64 人
郵 送	1 人
e - m a i l	21 人
公式ウェブページ	186 人
合 計	272 人

■ 市民意見等の概要及び市民意見等に対する市の考え方

1人のご意見に多岐にわたる内容が含まれている場合が多かったため、それぞれの項目で分類し、主な意見として集計しました。このため、上表の意見提出人数と、主な意見の合計件数は一致しません。また、多くの方から同様のご意見をいただいたので、それらのご意見をまとめたうえで、市の考え方を記載しました。

主な意見	件数	市の考え方
単に「反対」と記載された意見	15	次ページの通りです。
他の地域名が良いとする意見	46	
長岡ナンバーのままでよいとする意見	74	
地域名に抱くイメージに関する意見	153	
視認性に関する意見	11	
住民への周知や意見収集に関する意見	77	
導入基準に関する意見	9	
対象地域に関する意見	3	
図柄に関する意見	1	
ご当地ナンバーの交付に関する意見	33	
その他の意見	24	
合計	446	

単に「反対」と記載された意見

【市の考え方】

パブリックコメントとして公表した追加要望（案）のどの部分に反対か具体的に示されておりませんが、このたびのご当地ナンバーの導入そのものに反対と解釈いたしました。

他の地域名が良いとする意見

【主な意見の内容】

・「越後」、「魚沼」、「越後魚沼」、「うおぬま」などが良いとする意見

【市の考え方】

ナンバープレートに表示できる地域名の基準については、国の要綱で定められており、下記の要件を満たす必要があります。

- ①行政区画や旧国名などの地理的名称であり、当該地域を表すのにふさわしい名称であること。
- ②読みやすく、覚えやすいものであり、既存の地域名と類似していないこと。
- ③ナンバープレートに表示された際に十分視認性が確保されるよう、原則として漢字で2文字であること。やむを得ない場合は、漢字または平仮名で4文字までであること。

この条件を基に、広く地域の皆さんのご意見を伺おうと、地域自治組織や青年会議所などの市民団体をはじめ商工会議所や農協、観光協会などの産業界からも導入について賛同をいただき、「新ナンバープレート導入推進協議会」を設立して、どのような名称がいいか協議を進めてきました。

協議を進めるうえでは、知名度や今後の地域振興・観光振興にどのように生かしていくか、などの観点で議論をしていただき、12の名称の提案がありましたが、国土交通省の助言を基に、このうち6つに絞り込みました。

この6つの名称について、推進協議会において更に導入による効果を議論いただき、最終的には委員の投票により最も得票が多かった「雪国魚沼」が候補名として選定されました。

それぞれの名称には、メリット・デメリット双方があり、様々なご意見もあろうかと思いますが、今後の地域のためになる名称として推進協議会で選定されたもので、このご意見を尊重して「魚沼圏域版新ナンバープレート導入実行委員会」で決定したものです。

なお、実際の導入に当たっては、住民意向を確認するため市民アンケートを実施することとしています。

長岡ナンバーのままでよいとする意見

【市の考え方】

国はこれまでも、地域振興や観光振興に資する観点から、追加的に新たな地域名を定める「ご当地ナンバー」の導入（平成18年、平成26年）を進めてきました。

全国の地方においては、少子化をはじめとした人口減少等により、今後の維持存続が危惧される声があります。

地域を維持し、今後も発展していくためには、行政だけでなく民間事業者や地域住民の皆様と知恵を出し合いながら、あらゆる手段を講ずることで状況を打開していくことが何より重要です。

その手段の一つが、このたびの「新ご当地ナンバー」の導入であると考えています。

ご当地ナンバーの導入により、地域の特徴や魅力を分かりやすく発信することができます。また、多くの魅力的な地域資源を持つ当地域が、外部から見て一つのエリアに捉えられることにより、地域の価値が一層高まり、今後の地域間競争において優位性を発揮するものと認識しています。これらの地域間連携の枠組みは、ご当地ナンバーにとどまらず、将来にわたり地域が生き残っていくために必要なことと考えています。

このたび長岡ナンバーの図柄は、「花火」に決まりましたが、当地域にとってより身近な地域名及び図柄のナンバープレートを導入することで、地域の一体的な振興を図ることができると思いますので、「新ご当地ナンバー」の導入にご理解くださいますようお願いいたします。

地域名「雪国魚沼」に関する意見

【主な意見の内容】

- ・地域名にセンスを感じない（ださい、田舎感があるなど）とする意見
- ・「雪国魚沼」では若者のUターンや移住定住に悪影響が出るとする意見
- ・「雪国」は冬のイメージが強く、季節感が偏り、他の季節の観光振興にならないとする意見
- ・「雪国魚沼」のナンバーになれば車の購入を控える、また、おそれがあるとする意見
- ・「雪国魚沼」のナンバーでは県外、都市部に車で出掛ける時に恥ずかしいとする意見
- ・「雪国」にマイナスイメージを強く感じる人が多いとする意見

【市の考え方】

日本有数の豪雪地として全国的に知られている私たちの地域は、雪による困難が暮らしの中にある一方で、雪を利活用し、克服しながら住み続けてきた歴史があります。この雪国で育まれた文化や生活の知恵、雪を克服する技術は全国に誇れるものであり、これらは、当地域の特徴であり、魅力の一つです。

スポーツにおいても、当地域出身のスキーやスノーボードの選手がオリンピックや国際的な競技会に出場したり、また、オリンピックを目指す中学生や高校生が全国大会で素晴らしい成績を上げたりするなど注目を集めています。これらのことから、私たちの地域が「雪国」の名称を誇り高く掲げることは決して不自然ではありません。

一方、「魚沼」は地理的名称であり、魚沼産コシヒカリは、実績、知名度ともに日本一のお米として全国的に知られ、関係する特産品も全国に名を轟かせているとともに、スキー観光産業や日本有数の雪まつりなどの冬季レジャーをはじめ、雪を利用した様々な産業が地域経済にも大きく寄与されています。

この二つを組み合わせた「雪国魚沼」がご当地ナンバーとしてふさわしいとの意見が協議会の委員の方々からも多く出され、実行委員会において、それらの内容を十分検討し、マイナスイメージよりも将来的なメリットが期待されることから、ご当地ナンバーとして要望する地域名を「雪国魚沼」と決定しました。

この新たな地域名による新ナンバープレートの発信力は、今後の観光振興や産業振興等あらゆる場面で活かすことができ、地域振興に結び付けていけると考えています。

なお、実際の導入に当たっては、住民意向を確認するため市民アンケートを実施することとしています。

視認性に関する意見

【主な意見の内容】

- ・4文字では視認性が悪く、緊急時等に読み取りにくいのではないかとする意見

【市の考え方】

国土交通省の導入要綱では、「漢字」または「平仮名」で、文字数は最大で4文字までと決められおり、すでに4文字を表示しているナンバーもあります。視認性については、国の十分な審査を経て確保されるものと考えています。

住民の周知や意見収集の方法に関する意見

【主な意見の内容】

- ・住民への周知や意見の反映が不十分とする意見
- ・住民アンケート等が必要とする意見
- ・ご当地ナンバーを付けたくない人の意見をよく聞いてほしいとする意見
- ・推進協議会のみで決めるべきではないとする意見

【市の考え方】

国土交通省では、昨年5月に地域振興や観光振興の観点から、ご当地ナンバーの追加募集を行うこととしました。これにより、当市を含む近隣5市町では、連携して取り組むことで導入することが可能と判断し、5市町の首長が発起人となって「魚沼圏域版新ナンバープレート導入実行委員会」を設立し、ご当地ナンバー導入を目指したところです。

名称の選定には、広く地域の皆さんのご意見を伺おうと、地域自治組織や青年会議所などの市民団体をはじめ商工会議所や農協、観光協会などの産業界からも導入について賛同をいただき、「新ナンバープレート導入推進協議会」を設立して、どのような名称がいいか協議を進めてきました。これらは市報みなみ魚沼（平成29年10月1日号）でお伝えしたとおりです。

地域名の協議を進めるうえでは、国の基準を基に、知名度や地域振興・観光振興にどのように生かしていくか、などの観点で考えていただき、候補となり得る名称を提案いただきました。最終的には、それぞれの名称についてメリットを議論していただき、推進協議会の委員による投票で候補となる名称を選定していただいたところです。

これらの議論を踏まえて、ご当地ナンバーを導入する理由やナンバープレートに表示する新たな地域名、対象となる地域の考え方を整理し、ご当地ナンバーを追加要望するために新潟県へ提出する「地方版図柄入りナンバープレート地域名表示追加要望書（案）」に記載する内容について原案を作成しました。これらは、市報みなみ魚沼（平成30年1月1日号）によるパブリックコメント募集のお知らせでお伝えしたとおりです。その後、平成30年1月9日から2月8日の期間においてパブリックコメントを実施し、市民の皆様のご意見をいただきました。

導入推進協議会の委員は各団体を代表しており、会議における発言は会を代表してのご意見と受け止めています。

導入推進協議会の中嶋成夫委員長は、これからの世代の皆様意見を反映させたいとの強い意志をもって会議の運営に臨まれ、会議でも若い世代の委員の皆様から多くの意見が出されたことから、出席している委員の世代間の不均衡はないものと思っています。

なお、これまでの導入推進協議会は全て公開で行われており、報道機関が取材して新聞等にも

その都度掲載されておりました。また、市報及び市ウェブサイトにおいて協議結果等をお知らせし、市民の方への周知に努めたところです。

導入基準に関する意見

【主な意見の内容】

- ・雪国は抽象的で導入基準に当てはまるのか疑問とする意見
- ・降雪があるのはこの地域だけではなく、雪国はエリアの限定が難しいとする意見

【市の考え方】

国土交通省の導入要綱では、ご当地ナンバーの地域名は、4文字以内で、行政区域や旧国名などの地理的名称とされています。

「雪国魚沼」の「雪国」は単独では地理的名称ではありませんが、国土交通省からは、「雪国」単独では地域の特定が困難なため地域名としては難しいが、地理的名称と組み合わせ4文字以内で地域名とすることは可能との助言をいただいています。

対象地域に関する意見

【主な意見の内容】

- ・5市町では生活圏や文化が異なり、導入範囲として無理があるとする意見

【市の考え方】

日本有数の豪雪地として全国的に知られている私たちの地域は、雪による困難が暮らしの中にある一方で、雪を利活用し、克服しながら住み続けてきた歴史があります。この雪国で育まれた文化や生活の知恵、雪を克服する技術は全国に誇れるものであり、これは当地域の特徴です。

また、多くの魅力的な地域資源を持つ当地域が、外部から見えて一つのエリアに捉えられることにより、地域の価値が一層高まり、今後の地域間競争において優位性を発揮するものと認識しています。この地域間連携の枠組みは、ご当地ナンバーにとどまらず、将来にわたり地域が生き残っていくために必要なことと考えています。

図柄に関する意見

【主な意見の内容】

- ・地域名ではなく図柄に雪を採用し、ユーザーが選択できるようにしてほしいとする意見

【市の考え方】

新ナンバープレートに表示する図柄については、平成30年4月以降、デザインの検討を行います。図柄の選択的な活用方法については有効な提案ですが、地域名決定後、図柄の検討をするため採用は難しいと考えています。

ご当地ナンバーの交付に関する意見

【主な意見の内容】

- ・ご当地ナンバーの交付が強制的であることへの不満足意見
- ・ご当地ナンバーを選択制にしてほしいとする意見

【市の考え方】

新たな地域名のナンバー（ご当地ナンバー）が導入（平成 32 年度予定）されると、対象市町に所在のある（使用の本拠を置く）自動車については、「長岡」から「新たな地域名表示」の新ナンバープレートとなります。ただし、ご使用中の「長岡」ナンバーがただちに新たな地域名のナンバーに変更される訳ではなく、新車登録や移転登記等でナンバープレートを変更する場合に、順次、「新たな地域名表示」の新ナンバープレートになります。（この際には、国の制度により「長岡」ナンバーを選択することは出来ません。）

なお、新ナンバープレートの導入に当たっては、地域の合意形成が必要となることから、今後、新ナンバープレートの導入についての市民アンケートを実施して、地域の皆様の意向をうかがったうえで、最終的な導入について検討します。

その他の意見

【主な意見の内容】

- ・ご当地ナンバーになると地域が限定されやすくなり不安との意見
- ・個人の車で地域の PR をしたくないとする意見
- ・個人の車が特定企業の宣伝をしているようにとられかねないとする意見
- ・雪国に誇りを持つことは大切だが、ご当地ナンバーでなくてよいとする意見

【市の考え方】

ご当地ナンバーを導入することでのプライバシーへの影響については、これまでも、「ご当地ナンバー」の導入（平成 18 年、平成 26 年）が行われた中で、課題として取り上げられていないことから、影響は限定的と思われる。また、当地域では「雪国」を商品名に付けたり、イベントや店舗名などに活用する例が数多くあります。地域名が特定の宣伝としてとられるようなことは少ないと思われる。なお、地域への愛着や誇りをご当地ナンバーで示すのではなく、当地域にとって、より身近な地域名及び図柄のナンバープレートを導入することで、地域の一体的な振興を図ることができると考えますので、ご理解くださいますようお願いいたします。